

公益財団法人日本郵趣協会

2017年度事業報告（2017年4月1日～2018年3月31日）

【事業活動の総括】

「郵趣」を通して、郵便切手文化の向上発展に資する、そして、それを未来に継承する。

私たちは定款に記した目的を実現するため、社会一般の切手への関心が低くなり会員減少が続く厳しい状況の中で、2017年度もさまざまな事業に取り組んだ。

当協会が継続・発展して未来へ継承するためには何より「郵趣力の増強」が必要で、春と秋に「展覧会来場者促進 & 入会キャンペーン」を展開するなど、会員増強協議会の活動を強化した。その一方で、個々の事業の点検・見直しを行い、各事業が互いに相乗効果を挙げられるような展開を図り、効率的な事業支出、収入財源の確保・拡大に努めた。

普及啓発事業では、最新の切手発行情報、展覧会、出版物、シンポジウム等の情報をインターネットで積極的に公開、郵趣入門ガイドの改訂及び続編制作、切手オリエンテーションを通じて、新しい切手収集家の発掘を図った。

展覧会事業では、4月のスタンプショウ2017から「日本切手フリースタイル・コンテスト」を新設、自由な発想で作品をまとめ、多くの人たちが楽しみながら日本切手を知ることができる新しい形の展覧会を目指した。11月の第52回全国切手展JAPEX2017は、コレクションの内容を競う我が国で最も権威と歴史のあるコンペティションとして開催した。

出版事業では、『日本普通切手専門カタログ』第2巻戦後・ステーションナリー編を刊行、第3巻郵便史・郵便印編の刊行準備を進めた。JAPEX2017の企画出品を基に『日本船内郵便局印図録』、北欧切手展にちなんで『金井宏之コレクション フィンランド1856-1875』を出版した。定期刊行物の『郵趣』は切手を楽しむ雑誌、『郵趣研究』は専門誌としての役割分担を明確にして、それぞれ郵趣の魅力、素晴らしさを伝える誌面作りを行った。

学術調査研究事業では、公益財団法人化後の懸案であった部会・例会のあり方を見直して専門分野ごとに24の研究会を設置、研究発表会(ミニペックス)を13回開催した。その成果は『郵趣研究』への発表や講演活動等を通じて広く公開することを目指し、2017年度はその試行期間と位置付けて郵趣カンファレンスを5回開催した。

国際文化交流事業では、国際切手展、アジア国際切手展への文献出品、視察及びブース出展を通じて国際文化交流を図るとともに、日本・デンマーク外交関係樹立150周年及びフィンランド独立100周年記念事業を成功させた。

流通促進事業では、JPSオークションを通じて文化的・歴史的資料を拡散・劣化させることなく次世代へ着実に継承していくとともに、財政の安定化に努めたが、出品総数が増加する一方で、落札総高は前年度に及ばなかった。

顕彰事業では、登録支部・団体50周年特別表彰を新たに実施した。

社会貢献・地域支援事業では、「手紙を書こう！プロジェクト」を中心にパートナー企業・団体との協働プロジェクトを推進していくため、パートナーシップ委員会を新設した。第6回ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2017の風景印部門には前年の3倍を超える作品の公募があった。また押印技能認定制度を設け、押印講習会を10回開催するとともに、押印に関する専門的な知識を技術が優秀を認められた方に「押印認定書」(1級～3級)を授与した。

当面する大きなイベントである2020年の東京オリンピック・パラリンピック、2021年の日本郵便創業150周年への具体的な取り組みは2018年度に持ち越した。

理事、委員会委員長で事業執行会議を構成して、協会事業の具体的な取り組み方法などを協議している中で、2017年6月の任期満了による改選時に理事候補1名、2018年1月に1名の追加理事候補が何れも評議員会の承認を得られなかった。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類が持つ歴史、美しさ、芸術性といった文化的価値を広く社会一般に認識してもらうため、楽しみながら知ることのできる機会を創出していった。また、郵便切手文化を次世代に継承していくため、質の高い情報を積極的に提供するとともに、幅広い分野で普及啓発活動や情報発信を実施した。

(1)「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」(切手趣味週間の切手発行日から1週間)に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を617カ所(前年度635カ所)で開催した。実施テーマにあたっては、地域特性を生かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努めた。

(2) 展覧会来場者促進キャンペーン

登録支部・団体やサポート・パートナー企業・団体との協働・連携の下、全国規模の展覧会への来場者促進キャンペーンを実施した。キャンペーンの取り組みとして、特典情報を掲載したキャンペーンはがきを作成・配布し、集客文化イベントを実施するとともに、広く情報発信を図った。

① スタンプショー2017来場者促進キャンペーン

実施期間:2017年2月21日(火)～4月20日(木)

キャンペーンはがき:配布枚数250枚、回収枚数59枚(回収率23.6%)

② JAPEX2017来場者促進キャンペーン

実施期間:2017年8月1日(火)～11月2日(木)

キャンペーンはがき:配布枚数250枚、回収枚数34枚(回収率13.6%)

③ スタンプショー2018来場者促進キャンペーン

実施期間:2018年2月20日(火)～4月19日(木)

キャンペーンはがき:配布枚数280枚、回収枚数23枚(回収率8.2%)

(3) 郵趣入門ガイド

郵便切手類の入手・保存・楽しみ方等についてわかりやすく解説した郵趣入門ガイドとして、「郵趣スタートガイド」「日本切手で始めるスタートガイド」「知って得する切手入門ガイド」「郵趣リーフ作成ガイド」の4冊を制作した。郵趣入門ガイドの普及・利用拡大を図るため、全国規模の展覧会、地方本部主催の展覧会等における無償配布、郵趣入門ガイドを活用した普及啓発活動を展開した。

(4) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる切手オリエンテーションを開催した。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、参加プログラムを通して様々なアドバイスを提供した。

① 切手オリエンテーション「郵趣入門コース」

広く一般を対象にして、全6回のカリキュラムで「郵趣入門コース」を実施し、受講完了者には修了書を授与した。切手オリエンテーションは切手の博物館(豊島区)で開催し、最終回はスタンプショー2018の展覧会会場で実施した。

[第1回]講座テーマ「切手など郵趣品の話」、開催日:6月17日(土)、参加者:9名

[第2回]講座テーマ「切手など郵趣品の集め方と整理の仕方」、開催日:9月16日(土)、参加者:8名

[第3回]講座テーマ「マイリーフ作成ガイド」、開催日:11月18日(土)、参加者:6名

[第4回]講座テーマ「マイリーフ作成実習」、開催日:2018年1月27日(土)、参加者:4名

[第5回]講座テーマ「アルバムリーフ作成」、開催日:2018年3月17日(土)、参加者:5名

[第6回]講座テーマ「アルバムリーフ展示」、開催日:2018年4月21日(土)、参加者:3名

②こども切手オリエンテーション

幼児及び小学生児童を対象にして、郵便切手に関する基礎知識から実際に切手を見て触れてみる体験を通して、郵便切手への興味から趣味へ進める場として学んでもらった。こども切手オリエンテーションは、第3回〔会場:雑司が谷地域文化創造館(豊島区)〕以外、切手の博物館(豊島区)で開催した。

[第1回]内容:切手の歴史と切手宝探し、開催日:5月13日(土)、参加者:2名

[第2回]内容:「ゆうびんde自由研究」の作品作りのヒント、アドバイス講座、開催日:6月17日(土)、参加者:なし

[第3回]内容:切手で遊ぼう、手紙を書いてみよう1、開催日:8月24日(木)~8月27日(日)、参加者:40名

[第4回]内容:手紙を書いてみよう2(年賀状・クリスマスカード)、開催日:12月9日(土)、参加者:3名

[第5回]内容:手紙を書いてみよう3、開催日:2018年3月24日(土)、参加者:6名

(5) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な図書を広く図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが郵便切手文化の学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の発展に寄与した。

①JAPEX2015記念出版『年賀郵便』:33冊

(6) WEBサイト及びSNSの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、最新の切手発行情報、展覧会、出版物及び文化シンポジウム等に関する情報をホームページにおいて適時掲載し、広く社会一般に公開、提供した。また、英語版ホームページを通して海外への情報発信にも努めた。さらに、公式フェイスブック、公式ツイッター等のSNSを活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図った。

ホームページ総セッション:826千件(前年対比78%)、ツイッター総インプレッション:81,673千件(同137%)、フェイスブックいいね!:5,142名(同128%)、ツイッター・フォロワー:47,034(同135%)、LINE有効友だち:512名(同108%)。

(7) 全国郵趣大会

全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題の共有・活用の推進を図るため、全国郵趣大会を開催した。併せて、郵便切手文化の普及啓発並びに学術調査研究に貢献した功労者の顕彰、文化シンポジウム等の企画イベントを実施するとともに、交流と親睦を深める記念レセプションを開催した。

①全国郵趣大会2017inさいたま(第35回)[併設:関東郵趣大会2017inさいたま]

会期:9月2日(土)~9月3日(日)、会場:ラフレさいたま(さいたま市)、参加者:147名(前年度150名)、内容:記念式典、顕彰事業セレモニー、記念講演、セミナー、大盆回し大会。テーブルバザール:7店10テーブル(同9店10テーブル)、記念パーティ参加者:107名(同113名)。

②全国郵趣大会2018in島原(第36回)[準備作業]

会期:2018年9月8日(土)~9月9日(日)、会場:南風楼(長崎県島原市)、後援:日本郵便(株)九州支社、(一社)長崎県観光連盟[以上予定]。

(8) 地方本部主催の「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、地域市民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①福山・切手のつどい2017

会期:4月16日(日)、会場:まなびの館ローズコム(広島県福山市)、参加者:80名、主催:中国・四国地方本

部、福山支部。

②新潟県郵趣の集い2017in三条(第23回)

会期:6月11日(日)、会場:三条厚生福祉会館(新潟県三条市)、参加者:30名(前年度75名)、主催:中部地方本部、新潟県央支部。

③静岡県郵趣の集い2017in浜松

会期:6月24日(土)～6月25日(日)、会場:はまきたプラザホテル(静岡県浜松市)、参加者:37名(同37名)、主催:中部地方本部、浜松支部。

④岡山切手のつどい2017

会期:7月2日(日)、会場:岡山国際交流会館(岡山市)、参加者:50名(同60名)、主催:中国・四国地方本部、岡山支部。

⑤筑後地方切手のつどい2017(第19回)

会期:7月23日(日)、会場:小郡市生涯学習センター「七夕ホール」(福岡県小郡市)、参加者:60名(同60名)、主催:九州・沖縄地方本部、小郡支部。

⑥防府切手のつどい・2017夏

会期:8月6日(日)、会場:JA防府とくち会館(山口県防府市)、参加者:80名(同50名)、主催:中国・四国地方本部、防府支部、後援:防府市文化協会。

⑦広島切手のフリーマーケット2017(第16回)

会期:10月23日(月)、会場:KKRホテル広島(広島市)、参加者:80名(同95名)、主催:中国・四国地方本部、広島鯉城支部。

⑧防府切手のつどい2018

会期:2018年1月18日(日)、会場:JA防府とくち会館(山口県防府市)、参加者:72名、主催:中国・四国地方本部、防府支部。

⑨広島切手のつどい2018

会期:2018年1月21日(日)、会場:KKRホテル広島(広島市)、参加者:110名(同130名)、主催:中国・四国地方本部、広島鯉城支部。

⑩北九州切手のつどい2018

会期:2018年2月11日(日)、会場:アジア太平洋インポートマート[AIMビル](福岡県北九州市)、参加者:60名(同60名)、主催:九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援:日本郵便(株)北九州中央郵便局、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会。

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を発展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。郵便切手文化の独自性と継承性を確立することで、出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベント等を実施企画することによりPR効果を高め、集客の増加を図った。また、積極的に企業・団体との協働プロジェクトを推進していき、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応えた。

(1) 全国規模の展覧会

① 世界切手まつり スタンプショー2017(第41回)

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「切手でみる ベルサイユのばら」、「ご当地フォルムカード展」の開催、日本切手フリースタイル・コンテスト2017[新設]、第18回トピカル切手展の作品を公募した。また、パートナー・サポート企業と協働して、企画イベントの

実施、広報の周知を図った。

開催テーマ:「切手が誘う 夢をいっしょに!」、会期:4月21日(金)～4月23日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、来場者:7,600名(前年度8,000名)、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(株)伊藤園、カンオ計算機(株)、(株)鼓月、(株)東京洋紙店、(株)ながとも、(株)八丁幸、生活協同組合パルシステム東京、富士急行(株)、(株)不二家、ポスタルスクウェア(株)、(株)渡辺護三堂、(一社)笑い文字普及協会、協力:(有)池田理代子プロダクション、切手の博物館、郵政博物館。

企画展示:(1)「切手でみるベルサイユのバラ」:切手コレクション展示5作品24フレーム、ベルばらグッズ販売コーナー、ベルばらスタンプラリー、オスカル・フォトショップ、(2)「ご当地フォルムカード展」:切手コレクション展示1作品10フレーム、デザイン制作秘話、プレゼント企画。競争出品:(1)日本切手フリースタイル・コンテスト2017:22作品(新設)、(2)第18回トピカル切手展:37作品114フレーム(同30作品97フレーム)。外国郵政ブース:4カ国(フランス、国連、ポルトガル、フィンランド)、切手商ブース:35店47ブース(同26店37ブース)。

②世界切手まつり スタンプショウ2018(第42回)[準備作業]

企画展示「世界のねこ切手大集合」、「切手でふり返る『思い出の昭和』」及び企画イベントの実施計画について運営準備を進めるとともに、協力いただける企業・団体の協賛を募った。

開催テーマ:「切手を翼に 時空を超えて」、会期:2018年4月20日(金)～4月22日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、主催:(公財)日本郵趣協会、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(株)伊藤園、えにし書房(株)、(株)鼓月、(株)サカモト、(株)ながとも、(株)八丁幸、富士急行(株)、(株)不二家、ポスタルスクウェア(株)、(株)渡辺護三堂、(一社)笑い文字普及協会、協力:切手の博物館、郵政博物館。

③第52回全国切手展(略称:JAPEX2017)

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「船と郵便」、「北欧切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。本展覧会において金銀賞以上の賞を受賞した作品には、国際郵趣連盟(FIP)主催の国際切手展への出品資格が付与された。併せて、公式ガイドブック、コレクション集CD及び記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。

開催テーマ:「伝えよう『郵趣』の魅力を」、会期:11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者:4,400名(前年度4,600名)、後援:外務省、デンマーク王国大使館、フィンランド大使館、スウェーデン王国大使館、ノルウェー王国大使館、アイスランド大使館、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株)、特別協力:(公財)通信文化協会、協力:(一財)切手文化博物館。

招待出品:2作品18フレーム、企画出品:(1)「船と郵便」:16作品48フレーム、(2)「北欧切手展」:4作品28フレーム、競争出品:131作品412フレーム(同142作品459フレーム)。外国郵政ブース:4カ国(デンマーク、スウェーデン、ロシア、中国)、切手商ブース:33店43ブース(同35店43.5ブース)。

④第53回全国切手展(略称:JAPEX2018)[準備作業]

郵便切手類及び郵便制度に関する研究をさらに発展させていくため、企画出品及び文化シンポジウムの実施計画について運営準備を進めていく。

開催テーマ:「小さな切手に大きなロマンを」、会期:2018年11月16日(金)～11月18日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援:外務省、フランス大使館[以上予定]、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)ながとも、(株)日本郵趣出版、富士急行(株)[以上予定]、協力:(公財)通信文化協会[予定]。

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2017(第8回)

会期:4月28日(金)～4月29日(土・祝)、会場:アイパル香川(香川県高松市)、来場者:80名(前年度120名)、主催:中国・四国地方本部、高松支部。企画イベント:郵趣相談コーナー、切手交換会、紙付き切手の山崩し。

②第8回楽しい切手展in横浜

会期:5月21日(日)、会場:かながわ県民センター(横浜市)、来場者:287名(同393名)、主催:関東地方本部、横浜支部、湘南郵趣の会、相模原支部、後援:日本郵便(株)南関東支社、神奈川新聞社。企画イベント:体験ワークショップ「切手貼り絵」、さくら日本切手カタログ及び日本・外国使用済み切手プレゼント。

③スタンプショウくだまつ2017

会期:5月27日(土)～5月28日(日)、会場:スターピア下松(山口県下松市)、来場者:175名(同253名)、主催:中国・四国地方本部、周南支部、後援:日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社。

④スタンプショウ=ヒロシマ2017(第34回)

会期:6月10日(土)～6月11日(日)、会場:広島県立産業会館(広島市)、来場者:800名(同800名)、切手商ブース:6店8ブース(同7店8ブース)、主催:中国・四国地方本部、スタンプショウ=ヒロシマ組織委員会、後援:広島市、広島市教育委員会、日本郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社。企画イベント:切手女子コーナー、切手何でも相談室、鑑定コーナー、切手教室。

⑤大阪切手まつり2017(第19回)

会期:7月17日(月・祝)、会場:京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、来場者:450名(同120名)、主催:関西地方本部

⑥スタンプショウふくやま2017(第38回)

会期:9月23日(土・祝)～9月24日(日)、会場:まなびの館ローズコム(広島県福山市)、来場者:100名(同120名)、主催:中国・四国地方本部、福山支部、後援:日本郵便(株)中国支社、中国新聞社。企画イベント:収集相談コーナー、無料鑑定。

⑦彩PEX2017(第18回)

会期:9月22日(金)～9月26日(火)、会場:アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、来場者:170名(同460名)、主催:関東地方本部、川越支部、後援:日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉県郵趣連合。

⑧スタンプショウかごしま2017(第20回)

会期:9月30日(土)～10月1日(日)、会場:サンプラザ天文館(鹿児島市)、来場者:231名(同208名)、主催:九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援:日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC南日本放送、KTS鹿児島テレビ、KKB鹿児島放送、KYT鹿児島読売TV、エフエム鹿児島、鹿児島シティエフエム。企画イベント:収集相談、切手の鑑定、使用済み切手のつかみどり。

⑨中部スタンプショウ2017in長岡(第16回)

会期:10月7日(土)～10月8日(日)、会場:パストラル長岡(長岡市)、来場者:150名(同260名)、主催:中部地方本部、長岡支部、後援:日本郵便(株)信越支社、長岡郵便局。企画イベント:出張切手オリエンテーション。

⑩大阪秋の切手展2017(第4回)

会期:10月7日(土)～10月8日(日)、会場:京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、来場者:580名(同480名)、主催:関西地方本部、後援:日本郵便(株)近畿支社。

⑪スタンプショウはかた2017(第28回)

会期:10月14日(土)～10月15日(日)、会場:TKPカンファレンスシティ博多(福岡市)、来場者:250名(同263名)、主催:九州・沖縄地方本部、福岡支部、スタンプショウはかた2017実行委員会、後援:日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社。企画イベント:収集相談。

⑫スタンプショウこうち2017(第22回切手のおまつり)

会期:10月21日(土)～10月22日(日)、会場:イオンモール高知専門店街「イオンホール」(高知市)、来場者:714名(同579名)、主催:中国・四国地方本部、スタンプショウこうち2017実行委員会、後援:日本郵便(株)高知中央郵便局、NHK高知放送局、RKC高知放送、高知新聞社、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ。企画イベント:切手で遊ぼう!楽しい親子の切手工作教室。

⑬関西スタンプショウ2018(第31回)

会期:2018年3月10日(土)～3月11日(日)、会場:大阪マーチャンダイズ・マートビル[OMMビル](大阪市)、来場者:550名(同530名)、切手商ブース:10店(同9店)、主催:関西地方本部、後援:日本郵便(株)近畿支社、関西郵趣連盟。企画イベント:さくら日本切手カタログプレゼント。

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、あらゆる機会を活用した周知活動を行うとともに、出品公募前に出品物の添削・助言等を行い、審査結果発表後に出品者への助言の機会を設けた。

①日本切手フリースタイル・コンテスト、トピカル切手展の応募要項を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

②「JAPEX2017ルールブック」(JAPEX2017開催概要、JAPEX2017特別規則、JAPEX一般規則、JAPEX審査基準、JAPEX出品に関するQ&A等)を作成し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

③新規出品者の育成及び出品コンサルティングの実施

当協会事務局での対面及び通信添削において、作品コンサルティングを実施した。JAPEX新規出品者:16名(前年度21名)、出品コンサルティング利用者:10名(同7名)。

④審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

実施日:11月5日(日)、会場:第52回全国切手展JAPEX2017[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、参加者:34名(同30名)。

⑤応募作品のデータベース化

直近10年間のJAPEX出品者の入賞記録をデータベース化し、全国切手展の審査において活用した。

(4) 公認審査員制度と審査員の育成

コンクール形式の展覧会において適正な判定と円滑な運営を行うため、公認審査員制度により国内審査員の育成を図った。また、10月14日(土)に国際切手展BANDUNG2017報告会を開催し、世界の展覧会の潮流と審査の状況を有資格者と共有し、審査技術の向上と平準化を図った。

(5) 展示備品の整備及び購入

展覧会を安定的に開催して郵便切手文化の振興を図るため、所有する展示フレーム及び展示什器の点検と補修整備を進めた。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 書籍及び研究報告書

- ① 郵趣モノグラフ26『リタッチと貼り替え修正』(9月5日刊行)
- ② フィンランド独立100周年記念『金井宏之コレクション フィンランド1856-1875』(10月25日発行)
- ③ 『第52回全国切手展JAPEX2017コレクション集CD』(12月25日刊行)
- ④ JAPEX2017記念出版『日本船内郵便局印図録』(2018年3月20日刊行)

(2) 定期刊行物

- ① 切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行
- ② 週刊速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行
- ③ 郵趣専門誌『郵趣研究(The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行
- ④ WEB版『世界新切手ニュース』月刊/12回配信
- ⑤ WEB版『郵趣ウィークリー』週刊/50回配信

(3) 切手カタログ

- ① 『さくら日本切手カタログ2018』(4月20日刊行)
- ② 『テーマ別日本切手カタログVol.3 芸術・文化編』(7月25日刊行)
- ③ 『日本普通切手専門カタログVol.2 戦後・ステーションナリー編』(11月10日刊行)
- ④ 『日本普通切手専門カタログVol.3 郵便史・郵便印編(仮称)』[刊行準備作業]
- ⑤ 『新中国切手カタログ2018』(12月25日刊行)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、活動事例紹介、研究発表会(ミニペックス)、文化シンポジウム等を開催し、知的情報の公開・周知を図った。

(1) 研究会

専門分野に関する学術調査研究の充実・発展を図る組織として、専門分野ごとに24の研究会(旧部会・例会)を設置した。全国規模の展覧会においては、誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、各研究会の活動事例紹介を実施した。

① 世界切手まつり スタンプショウ2017

会期:4月21日(金)～4月23日(日)、ブース:12研究会、切手の集い:5研究会、延べ参加者55名。

② 第52回全国切手展 JAPEX2017

会期:11月3日(金・祝)～11月5日(日)、ブース:14研究会、切手の集い:5研究会、延べ参加者53名。

(2) 研究発表会<ミニペックス>

研究会等による学術調査研究世界の発表会を<ミニペックス>と称して、切手の博物館(豊島区)において発表・公開した。また<ミニペックス>では、研究趣旨をわかりやすく説明する作品解説等を実施した。

① 第15回絵画切手展

会期:5月26日(金)～5月28日(日)、来場者:330名(前年度200名)、研究発表:絵画切手研究会。

② 第32回昆虫切手展

会期:6月3日(土)～6月4日(日)、来場者280名(同270名)、研究発表:昆虫切手研究会。

③イギリス切手研究会切手展2017

会期:6月17日(土)～6月18日(日)、来場者370名(同410名)、研究発表:イギリス切手研究会、後援:在日イギリス大使館、(一社)日英協会。

④アメリカ切手展2017 america'17

会期:7月5日(水)～7月9日(日)、来場者240名(同220名)、研究発表:アメリカ切手研究会。

⑤第8回世界の植物切手展

会期:7月13日(木)～7月16日(日)、来場者330名(同300名)、研究発表:植物切手研究会。

⑥JPS航空郵趣研究会展2017 AEROPEX2017 一航空切手発行100年記念一

会期:9月23日(土・祝)～9月24日(日)、来場者310名(同320名)、研究発表:航空郵趣研究会。

⑦音楽切手研究会発足25周年 ブラームス没後120年 記念音楽切手展

会期:11月11日(土)～11月12日(日)、来場者320名(同280名)、研究発表:音楽切手研究会。

⑧パソコン郵趣切手展2018

会期:2018年1月13日(土)～1月14日(日)、来場者240名(同240名)、研究発表:パソコン郵趣研究会。

⑨菊・田沢 MINIPEX2018

会期:2018年1月19日(金)～1月21日(日)、来場者190名(同270名)、研究発表:菊・田沢切手研究会。

⑩第13回中国郵票展

会期:2018年1月27日(土)～1月28日(日)、来場者210名(同180名)、研究発表:福井和雄理事長。

⑪GERMANIA2018 第18回ドイツ切手展

会期:2018年3月2日(金)～3月4日(日)、来場者260名、研究発表:ドイツ切手研究会。

⑫第10回聴覚障害者切手研究会切手展

会期:2018年3月10日(土)～3月11日(日)、来場者260名(同260名)、研究発表:聴覚障害者切手研究会。

⑬第9回テーマティック研究会切手展

会期:2018年3月30日(金)～4月1日(日)、来場者220名、主催:テーマティック研究会。

(3)郵趣カンファレンス

各専門分野の先進学術事例の調査研究を進めるとともに、この知見を相互に有効活用するため郵趣カンファレンスを切手の博物館(豊島区)で開催した。また郵趣カンファレンスにおける発表、意見交換会を踏まえて、その学術事例を出版物及びホームページを通して発表・公開した。

①「Machin Pre-decimal を楽しむ」

会期:6月17日(土)、研究発表:佐藤明夫氏(イギリス切手研究会)、聴講者:14名。

②「肥後・山崎局について」「金子入り書状の変遷と変態」

会期:10月28日(土)、研究発表:立山一郎氏、石川勝己氏(以上、東大切手研究会)、聴講者:15名。

③「立山航空切手のリコストラクション」

会期:10月29日(日)、研究発表:新井紀元氏(東京大学切手研究会)、聴講者:5名。

④「田沢切手の第2次原版と実用版の研究に関する最新情報」

会期:2018年1月20日(日)、研究発表:山口充氏(菊・田沢切手研究会)、聴講者:10名。

⑤「わたくしのテーマティック郵趣戦略」

会期:2018年3月31日(土)、研究発表:大沼幸雄氏(テーマティック研究会)、聴講者:13名。

(4)文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、トークショー等の形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人に参加できる機会を創出した。

①会期:4月21日(金)～4月23日(日)、会場:世界切手まつり スタンプショウ2017[東京都立産業貿易センタ

一台東館(台東区)]

- A. 講演会「公益財団法人日本郵趣協会 19の研究会 すべてをご紹介します」(講師:江村清・研究会委員長)、聴講者20名。
- B. 講演会「風景印大百科の楽しみ方」(講師:佐滝剛弘氏)、聴講者50名。
- C. 講演会「カタログから見つける一番切手」(講師:谷之口勇氏)、聴講者35名。
- D. 講演会「宝塚歌劇における『ベルサイユのばら』」(講師:玉木淳一氏)、聴講者35名。
- E. 講演会「風景印アイデアお便り大集合・48人それぞれのこだわり」(講師:古沢保氏)、聴講者60名。
- F. 講演会「切手でみる ベルサイユのばら」(講師:内田雄二氏)、聴講者30名。
- G. トークショー「アート or デザイン 日本の美意識をめぐって」(ゲスト:河野哲郎氏、玉木明氏)、聴講者50名。

②会期:9月2日(土)～9月3日(日)、会場:全国会員大会2017inさいたま[ラフレさいたま(さいたま市)]

- A. 講演会「切手展の楽しみ方」(講師:榎澤祐一氏)、聴講者110名
- B. 講演会「夫婦で楽しむ郵趣ライフ」(講師:大沢秀雄氏、大沢知子氏)、聴講者100名。
- C. セミナー「手彫切手の収集」(講師:祖父江義信氏)、聴講者20名。
- D. セミナー「日本の郵便機械化」(講師:板橋祐己氏)、聴講者20名。
- E. セミナー「切手デザインを読み解く」(講師:羽賀正雄氏)、聴講者20名。
- F. セミナー「リタッチと貼り替え」(講師:大村公作氏)、聴講者30名。
- G. セミナー「バーコード切手」(講師:本間秀雄氏)、聴講者20名
- H. セミナー「科学切手の世界」(講師:安部浩司氏)、聴講者20名。

③会期:11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場:第52回全国切手展JAPEX2017[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]

- A. 研究発表会「ドイツの面白さ、奥深さ」(研究発表:加藤久勝・ドイツ切手研究会代表)、聴講者30名。
- B. 講演会「スイス鉄道旅行の魅力」(講師:櫻井寛氏)、聴講者35名。
- C. 講演会「新刊『風景印かながわ探報』裏話」(講演:古沢保氏)、聴講者70名。
- D. 講演会「パレスチナ現代史 岩のドームの郵便学」(講演:内藤陽介氏)、聴講者40名。
- E. 講演会「この1冊のカタログで、日本の芸術・文化切手の見方が変わる」(講演:江村清氏)、聴講者20名。
- F. トークショー「日本郵便切手デザイナーの“ここだけの話”」(ゲスト:山田泰子氏、MC:井村恵美氏)、聴講者80名。
- G. パネルディスカッション「沖縄郵趣の醍醐味とその拡がり—『沖縄切手総カタログ』の活用術」(パネラー:秋吉誠二郎氏、大井道夫氏、三木伸一氏、MC:平林健史氏)、聴講者20名。
- H. パネルディスカッション「日本普通切手専門カタログVOL.2 注目のポイントを語る!」(パネラー:大村公作氏、須谷伸宏氏、桑野博氏、那須伊允氏、MC:稲葉良一氏)、聴講者30名。

(5) 展覧会助成

郵趣分野における研究の発展並びに普及啓発の観点から、社会的要請及び学術的に質の高い研究成果の発表・公開に対して、展覧会助成を実施した。

① 第1回映画・演劇人の手紙展

会期:4月7日(金)～4月9日(日)、来場者150名、主催:玉木淳一氏。

② 第8回世界のクラシック切手展

会期:5月5日(金・祝)～5月7日(日)、来場者200名、主催:クラシック郵趣研究会。

③ 第2回切手フェスタ

会期:6月23日(金)～6月25日(日)、来場者450名、主催:切手フェスタ実行委員会。

④ 第3回武蔵野地区合同切手展

会期:9月29日(金)～10月1日(日)、来場者200名、主催:三鷹郵趣会、方寸会。

⑤第14回震災切手と震災郵趣展

会期:10月13日(金)～10月14日(土)、来場者100名、主催:震災切手研究会。

⑥なでしこ切手倶楽部展2017

会期:10月19日(木)～10月22日(日)、来場者390名、主催:なでしこ切手倶楽部。

⑦東京大学切手研究会創立70周年記念切手展

会期:10月28日(土)～10月29日(日)、来場者160名、主催:東京大学切手研究会。

⑧第1回世界の郵便はがき展

会期:2018年3月25日(日)～3月28日(水)、来場者100名、主催:郵便ステーションナリー研究会。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を推進した。

(1) 国際切手展における国際文化交流

国際切手展の視察、国際郵趣セミナー等の参加を通じて、海外諸国・地域の郵趣家とのネットワークの形成・強化を図るとともに、国際文化交流を契機とした新たな郵便切手文化の創造を推進した。

①第34回アジア国際切手展MELBOURNE2017への文献出品、視察

「ビジュアル日本切手カタログVol.1～Vol.4」を出品し大金銀賞を受賞した。また、アジア国際展視察に1名を派遣し、視察報告を出版物に掲載するとともに国際展カンファレンスを実施した。会期:2017年3月30日(木)～4月2日(日)、会場:コーフィールド競馬場コンベンションホール(オーストラリア・メルボルン)。

②国際切手展BANDUNG2017への文献出品、視察

「ビジュアル日本切手カタログVol.1～Vol.5」を出品し金銀賞、「日本切手専門カタログVol.1」を出品し金銀賞を受賞した。また、国際展視察に2名を派遣し、視察報告を出版物に掲載するとともに国際展カンファレンスを実施した。会期:8月3日(木)～8月7日(月)、会場:トランス・スタジオ・コンベンションセンター(インドネシア・バンドン)。

③国際切手展BRASILIA2017への文献出品

「日本切手専門カタログVol.1」を出品し大金銀賞、「郷土の郵便印」を出品し金銀賞を受賞した。会期:10月24日(火)～10月29日(日)、会場:ウリセス・ギマランイス・コンベンションセンター(ブラジル・ブラジリア)。

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

日本国としての参加が求められている国際切手展に日本郵政機関と協働してブース出展を行うとともに、海外郵政機関と協働して質の高い国際文化交流の活性化に努めた。

①国際切手展BANDUNG2017へのブース出展

〈JAPAN POST〉(日本郵便)ブースの出展・運営を行い、郵便切手類の展示・紹介、新切手リーフレットの無償配布及び記念押印サービスを実施した。会期:8月3日(木)～8月7日(月)、会場:トランス・スタジオ・コンベンションセンター(インドネシア・バンドン)。

※本事業は、(一財)切手の博物館の助成事業として実施。

②日本・デンマーク外交関係樹立150周年記念事業[認定事業]

記念事業として、デンマーク初期切手コレクションの特別公開展示、文化シンポジウムを開催した。会期:11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援:外務省、デンマーク王国大使館。

③フィンランド独立100周年記念事業[認定事業]

記念事業として、フィンランド初期切手コレクションの特別公開展示、記念出版「SUOMI FINLAND 1856-1875」を刊行した。会期：11月3日(金・祝)～11月5日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、後援：外務省、フィンランド大使館。

(3) 日本国際切手展2021

日本における郵便切手文化の発展向上及び日本の郵便切手類の海外への普及啓発を図るとともに、郵便切手類を通じた国際文化交流を促進するため、日本の郵便創業150年を迎える2021年の好機に、「日本国際切手展2021(仮称)」の開催を目指すことに取り組んだ。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止するためにさまざまな対策をとり、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、郵便切手文化の保全と健全なる市場の形成を図り、広く利用者の便宜性と拡大に努めた。

(2) 公開入札制度<JPSオークション>

公正かつ厳格なマネジメントによる公開入札制度を通して、郵便切手文化を広く一般社会に敷衍するとともに、郵便切手類への不当な投機的流通を防止し、郵便切手類の価値の公正化を図った。

①第509回 開催日：4月22日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

②第510回 開催日：7月1日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

③第511回 開催日：9月12日(火)、メールオークション

④第512回 開催日：11月4日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

⑤第513回 開催日：2018年1月13日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)

⑥第514回 開催日：2018年3月13日(火)、メールオークション

出品総数：8,444ロット(前年度7,666ロット)、落札総高：58,756千円(同75,014千円)。

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第38回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長：福井和雄、委員：魚木五夫、長田伊玖雄、落合宙一、桑野博、高野昇郎、松本純一、村岡安廣)を設置し、4月21日(金)に選考委員会を開催し、受賞者に佐々木義郎氏を決定した。

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長：福井和雄、委員：大沼幸雄、落合宙一、桑野博、玉木淳一)を設置し、6月3日(土)に選考委員会を開催し、該当者なしと決定した。

③第37回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の選考委員会を設置し、次の通り決定した。

A. 個人部門：荒木寛隆氏、大畑紀子氏、加賀谷長之氏、羽賀正雄氏の4名

B. 団体部門:該当なし

④第37回郵趣文献賞

同上の選考委員会を設置し、受賞文献に次の2文献を決定した。

「飛脚 ー飛脚と郵便ー」(山崎好是著)、「手彫切手 JAPAN 1871-1876」(祖父江義信著)

⑤第34回小倉謙賞

第52回全国切手展JAPEX2017審査員会の審査員で選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、11月4日(土)に選考委員会を開催し、該当作品なしと決定した。

⑥第32回住野正顕賞

第52回全国切手展JAPEX2017審査員会の審査員で選考委員会(委員長:石川勝己)を設置し、11月4日(土)に選考委員会を開催し、受賞者に原田肇氏「デンマーク2色切手(1870-1915)」を決定した。

⑦登録支部・団体50周年特別表彰

特別表彰の選考にあたり、7月22日(土)に事業執行会議(議長:福井和雄)を開催し、2017年度の表彰に草加郵趣会、方寸会、甲府支部、福山支部、高松支部の5団体を決定した。

(2) 授賞式

表彰は授賞式をもって行うとともに、選考結果は『郵趣』及びホームページにおいて公開した。

①第38回中島健蔵・水原明窓記念賞は、第52回全国切手展JAPEX2017において受賞者を発表するとともに、11月4日(土)に同会場において授賞式及び受賞記念講演を公開で実施した。

②第37回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第37回郵趣文献賞は、全国郵趣大会2017inさいたまにおいて受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

③第32回住野正顕賞は、第52回全国切手展JAPEX2017において受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

④登録支部・団体50周年特別表彰は、全国郵趣大会2017inさいたまにおいて受賞者を発表するとともに、授賞式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに「新しい公共」の担い手としての役割を推進していくため、パートナー企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1)「手紙を書こう!プロジェクト2017」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れ合う機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指していくため、日本郵便(株)をはじめとした多様なサポート企業・団体の協賛を得て実施した。

①ワークショップ「手紙を書いてみよう」

A. 会期:4月21日(金)~4月23日(日)、会場:東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

B. 会期:8月24日(木)~8月27日(日)、会場:雑司が谷地域文化創造館(豊島区)

延べ参加者:500名。

②ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2017(第6回)

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親んでもらうため、小学生児童を対象にして、郵便に必要な切手、消印を題材にした自由研究作品(切手部門、風景印部門)を公募した。文化・歴史・自然等について知識・研究を深めてもらうことで、郵便切手文化の普及を図るとともに、夏休みの自由課題として取り組んでもらえるよ

うに教育機関等への周知に努めた。

発表会:8月24日(木)～8月27日(日)、会場:雑司が谷地域文化創造館(豊島区)、後援:文部科学省、豊島区教育委員会、(公社)日本PTA全国協議会、読売KODOMO新聞、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:(一財)切手の博物館、カシオ計算機(株)、(株)ジャパン・ビバレッジ東京、(株)デサント、富士急行(株)、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ。

応募作品:切手部門:27作品(前年度38作品)、風景印部門:746作品(同219作品)。表彰式は8月27日(日)に切手の博物館(豊島区)において実施するとともに、優れた作品にグランプリ及び特別賞(6協賛企業・団体)を授与した。

※本事業は、日本郵便(株)の年賀寄付金配分事業として実施した。

③Otegamiフリマ

フリーマーケット形式のイベントとして広く郵便切手雑貨関連のブース出展を募り、郵便切手文化の魅力を再発見してもらうため、お手紙コーナー及びデコレーションポストの設置、郵便局臨時出張所による記念押印サービス等を実施した。

A. Otegamiフリマ2017 SUMMERコレクション 会期:5月19日(金)～5月20日(土)、来場者600名。

B. Otegamiフリマ2017 AUTUMNコレクション 会期:8月25日(金)～8月26日(土)、来場者600名。

C. Otegamiフリマ2017 WINTERコレクション 会期:11月24日(金)～11月25日(土)、来場者800名。

D. Otegamiフリマ2018 SPRINGコレクション 会期:2018年2月16日(金)～2月17日(土)、来場者800名。

会場:いずれも切手の博物館(豊島区)、共催:(一財)切手の博物館、協賛:日本郵便(株)、ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ

④タイムカプセル郵便(未来への手紙)

東宝(株)と協働して映画「君の臍臓をたべたい」とのタイアップチラシの作成・配布、読売新聞社と協働して「1964年から2020年東京オリンピックへ未来をつなぐレガシー展」の開催、(一社)鳥取観光事業団と協働して「フラワーイルミネーション in 花回廊」の開催等を通じて、タイムカプセル郵便の周知・受付を行った。

募集期間:4月1日(土)～2018年3月31日(土)[通年]、引受通数:8,571通(同3,247通)、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ。

⑤プチ・レトル[Petit Lettre](愛の国際郵便)

フランスのセント・ヴァレンタイン郵便局との国際郵便の体験を通じて、広く一般社会に郵便切手文化への夢を育むとともに、日本・フランス間の友好関係と国際理解の増進に努めた。

募集期間:4月1日(土)～2018年3月31日(土)[通年]、引受通数:29通(同47通)、特別協賛:日本郵便(株)、協賛:ポスタルスクウェア(株)、リソー教育グループ、協力:フランス郵政、セント・ヴァレンタイン郵便局

(2)登録支部・団体制度と地域文化活動の支援

郵便切手文化の普及の担い手である市民文化活動の振興を図るため、登録支部・団体との連携を強め、各地域における自主的活動や特性を発揮しながら、効果的な事業が推進できるように支援した。

登録支部・団体:95(前年度98)

①地域が取り組む展覧会及び切手教室への助成

登録支部・団体が開催した延べ33回の展覧会及び1回の切手教室への助成を行った。

②郵便切手文化活動への広報協力

『郵趣(YUSHU)』及び協会ホームページにおいて、各地域のイベントを紹介した。

③地域文化活動の活性化及び企画プログラムの提供

地域の郵趣活動を活性化させるため、企画プログラムの提供、講師の紹介などの支援を行った。

(3)パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合って、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応えた。

①日本郵便(株)切手デザイナーとの手紙振興プロジェクト

A. 切手デザイナー・トークショー&サイン会

(a) テーマ:「アートorデザイン 日本の美意識をめぐる」、ゲスト:玉木明氏。会期:4月22日(土)、会場:世界切手まつり スタンプショー2017[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、聴講者50名。

(b) テーマ:「日本切手デザイナーの“ここだけの話”」、ゲスト:山田泰子氏。会期:11月3日(金・祝)、会場:第52回全国切手展JAPEX2017[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、聴講者80名。

(c) テーマ:「グリーティング切手「ムーミン」発行記念 スペシャルトークショー」、ゲスト:中丸ひとみ氏。会期:12月23日(土・祝)、会場:切手の博物館(豊島区)、聴講者:60名。

B. 展覧会の審査員

日本切手フリースタイル・コンテスト2017の審査員として、玉木明氏を招請した。審査日:2017年3月28日(火)、表彰式:4月23日(日)。

C. オリジナル・ポストカード

手紙振興及び郵便の利用拡大を図るため、切手デザイナーによるオリジナル・ポストカードを作成した。デザイン担当:山田泰子氏。

D. 年賀はがき面白情報

年賀はがき、年賀状の差出に関心をもってもらうため、2018年用年賀はがきに関する面白情報の提供を受け、JAPEX2017(台東区)及び切手の博物館(豊島区)において展示・公開した。

②分冊百科『世界の切手コレクション』(アシエツト・コレクションズ・ジャパン(株)発行、全220巻予定)の監修及び切手等の図版提供を行った。

③春のメッセージフェスタ2017及び秋のメッセージフェスタ2017への参画

A. 日本郵便(株)主催の「秋のメッセージフェスタ2017 in KITTE」にブース出展し、タイムカプセル郵便(未来への手紙)の周知及びフィンランド・ポルトガル・エストニアの3カ国郵政共同ブースの運営を行った。会期:9月16日(土)~9月18日(月・祝)、会場:JPタワー・KITTE。

B. 日本郵便(株)主催の「春のメッセージフェスタ2018 in THANKS KITTE」にブース出展し、フィンランド・リヒテンシュタイン・エストニアの3カ国郵政共同ブースの運営を行った。会期:2018年3月17日(土)~3月18日(日)、会場:JPタワー・KITTE。

④青少年ペンフレンドクラブ(PFC)との周知連携

日本郵便(株)発行の「Letter Park」紙面を利用して、展覧会等の開催周知の連携を図った。

(4)ボランティアの醸成

郵便切手文化に関する理解と関心を高めるとともにボランティア活動への市民参加の促進を図るため、体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

①郵趣のための押印講習会(押印技能認定制度)

押印講習会を10回開催するとともに、押印に関する専門的な知識を技術が優秀と認められた方には、「押印認定書」(1級~3級)を授与した。押印ボランティア登録者:24名、押印認定者:23名。

②展覧会運営ボランティアの公募

当協会の公式ホームページをはじめ、ボランティア募集を掲載するWEBサイト3社に登録して体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

A. 4月21日(金)~4月23日(日)開催のスタンプショー2017に一般ボランティア21名の応募があり、延べ42名が運営ボランティアとして参加した。

B. 11月3日(金・祝)～11月5日(日)開催の第52回全国切手展JAPEX2017に一般ボランティア16名の応募があり、延べ28名が運営ボランティアとして参加した。

(5) 公益活動への支援

① 切手バザール

(一財)切手の博物館主催の「切手バザール」の開催を支援した。会期:5月13日～5月14日、6月10日～6月11日、7月1日～7月2日、10月7日～10月8日、11月18日～11月19日、2018年1月6日～1月7日、2月24日～2月25日、3月17日～3月18日の延べ8回、会場:いずれも切手の博物館(豊島区)。

② 第67回全日本切手展

全日本切手展2017実行委員会、(公財)通信文化協会、(一社)全日本郵趣連合共催の「第67回全日本切手展」に特別賞を授与した。会期:7月15日(土)～7月17日(月・祝)、会場:すみだ産業会館(墨田区)。

③ 切手の博物館のクリスマス

(一財)切手の博物館と共催して、「切手の博物館のクリスマス」を開催した。会期:12月2日(土)～12月24日(日)、会場:切手の博物館(豊島区)。

④ 切手の博物館でバレンタイン

(一財)切手の博物館と共催して、「切手の博物館でバレンタイン」を開催した。会期:2018年2月3日(土)～2月14日(水)、会場:切手の博物館(豊島区)。

⑤ 第21回目白ロードレース

目白ロードレース実行委員会主催の「第21回目白ロードレース」に協賛した。会期:2018年3月4日(日)、会場:学習院キャンパス周辺。

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協力していただける企業・団体の募集、多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形で寄付を募った。この益金は、広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) サポート・パートナー企業・団体の募集

スタンプショウ2017に対して14企業・団体(前年度13企業・団体)、ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2017に対して8企業・団体(同8企業・団体)、第52回全国切手展JAPEX2017に対して7企業・団体(同8企業・団体)から協賛、協力の支援を得た。

(2) 使用済み切手、書き損じはがきの募集

募集期間:2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土)、協賛件数:2,486件(同2,423件)。

(3) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

募集期間:2017年4月1日(土)～2018年3月31日(土)、協賛者:なし(同6名、436,863円)。

(4) スタンプショウ2017寄附金(特別寄附金)

募集期間:1月5日(木)～4月23日(日)、特別寄附金:21口(1口3万円)、一般寄附金:368口(1口4,000円)、協賛者:336名、2,101千円(同402名、2,442千円)。

(5) JAPEX2017寄附金(特別寄附金)

募集期間:7月1日(土)～11月5日(日)、特別寄附金:37口(1口3万円)、一般寄附金:562口(1口4,000円)、協賛者:521名、3,508千円(同533名、3,780千円)。

II 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図った。

(1) 会員の維持・拡大

協会の事業内容の紹介活動を積極的に行うとともに、新規会員獲得に向けた活動を強化した。また退会防止に向けて、魅力ある会員サービスを積極的に提供した。

①春の入会キャンペーン、秋の入会キャンペーン

A. 4月21日(金)～4月23日(日)開催のスタンプショウ2017において、「スタンプショウ2017来場者促進&春の入会キャンペーン」を実施した。入会者:14名。

B. 11月3日(金・祝)～11月5日(日)開催の第52回全国切手展JAPEX2017において、「JAPEX2017来場者促進&秋の入会キャンペーン」を実施した。入会者:11名。

②WEB会員入会キャンペーン

当協会の公式ホームページを中心に、若い年齢層や女性会員を増やすため割安な会費のWEB会員の入会誘致を行った。新規入会者:28名。

③移籍のお願いキャンペーン

普通会员から正会員へ、正会員から維持会員への移籍)、会員在籍継続及び再入会ダイレクトメール、会費自動引き落としの利用拡大の呼びかけを実施した。

普通会员から正会員への移籍者:22名(前年度10名)、正会員から維持会員への移籍者:5名(同1名)。

④会員満足度アンケート調査、会員増強セミナーの開催

10月7日(土)～10月8日(日)の中部スタンプショウ2017in長岡で行われた中部地方本部管内の支部長会議、及び2018年2月4日(日)に開催された関東地方本部の支部長会議にて会員満足度アンケート調査を実施した。また、4月23日(日)スタンプショウ2017会場において、2017年度の会員増強セミナーを開催し2017年度の会員増強施策の説明、意見交換を行った。参加者16名。

⑤『正会員会報』月刊/12回発行

⑥「郵趣手帳(Philatelic Diary)2018・2019」を作成し、維持会員及び正会員に無償配布した。

(2) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図った。

(1) 新春交歓会

①大阪・新春交歓会2018

会期:2018年1月6日(土)、会場:ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者:48名(前年度47名)。

②東京・新春交歓会2018

会期:2018年1月20日(土)、会場:リュド・ヴィンテージ目白(豊島区)、参加者:68名(同55名)。

(2) 地方本部主催の郵趣大会

①東北郵趣大会2017in仙台(第27回)

会期:6月10日(土)～6月11日(日)、会場:作並温泉・岩松旅館(仙台市)、参加者:47名(前年度140名・全国

郵趣大会に併設)、主催:北海道・東北地方本部

②関東郵趣大会2017inさいたま(第33回)[併設:全国郵趣大会2017inさいたま]

会期:9月2日(土)~9月3日(日)、会場:ラフレさいたま(さいたま市)、参加者:147名(同91名)、主催:関東地方本部、後援:日本郵便(株)関東支社。

(3)コミュニティ通貨「フィラ」

お金では表せない「善意」を交換するコミュニティ通貨「フィラ」の普及拡大と流通促進により、ボランティア活動の活性化を図るとともに、サービスの循環によって生き生きとした心豊かな社会を実現した。発行数:29,501枚、流通数:1,053枚(流通率3.6%)。

2017年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2018年6月

公益財団法人 日本郵趣協会